

教員の業績				
職名		教授	学位	法学士
氏名	カナ	ヤマカワ サトル	役職名	キャリア・学生支援センター長
	漢字	山川 悟		

1. プロフィール	法政大学法学部政治学科卒業後、(株)日本経済社、(株)NTTアド勤務を経て、2008年4月より現職 東京富士大学総合研究所所長(2010年4月～2012年3月) 東京富士大学キャリア開発センター部長(2013年4月～2016年1月)		
2. 主な担当科目	マーケティング概論、ブランドマーケティング論、マーケティングプランニング、 コンテンツビジネス論、専門演習		
3. 専門分野	マーケティング論、創造性開発、広告論、コンテンツビジネス論		
4. 主な研究テーマ	文化メソッド(遊び、物語、笑い、アート、モダリティ)のマーケティング研究 コンテンツ体験のビジネスモデル化に関する研究		
5. 主な研究業績	著書	『社会心理学における説得と交渉』(三恵社/2012.3=共著)	
		『コンテンツがブランドを創る』(同文館出版/2011.9=共著)	
		『不況になると口紅が売れる』(毎日コミュニケーションズ/2009.9=単著)	
		『創発するマーケティング』(日経BP社/2008.3=共著)	
		『事例でわかる物語マーケティング』(日本能率協会コンサルティング/2007.9=単著)	
		『企画のつくり方入門』(かんき出版/2006.9=単著)	
	論文	『コンテンツマーケティング ～物語型商品の市場法則を探る』(同文館出版/2004.6=共著)	
		「就職活動のフロー体験化を促進するメソッド開発～「自己分析」「企業研究」におけるゲーミフィケーションの実践～」富士論叢 第60号, 第1号 平成27年(調査報告書) 共著	
		「大学生の能力開発のためのアーキテクチャ設計に関する基礎的研究」富士論叢 第59巻 第1号 平成26年 共著	
		「ゲームメソッドのマーケティング活用に関する考察」(「フジ・ビジネスレビュー」2013.3)	
		「わが国における音楽活用マーケティングの現状と可能性」(「フジ・ビジネスレビュー」2012.3)	
		『オーディエンスにとっての経験プラットフォーム構築を目指して～能動的なコンテンツ消費に対応するための一視点』(「フジ・ビジネスレビュー」2011.3)	
		『ブランデッド・コンテンツの効果に関する考察～マーケティングにおける「物語」「作品」「虚構」の役割とは?』(「日経広告研究所報252号」2010.8～9)	
		『技術のブランド化に関する考察』(「フジ・ビジネスレビュー」2009.3)	
	海外翻訳出版物	『創発的消費とマーケティング ～市場における意味のズレをめぐって』(季刊「マーケティングジャーナル」55号/1995)	
『CONTENT MARKETING』(「コンテンツマーケティング」韓国版翻訳TIME OF WHEEL/2009.4=共著)			
『図解企劃案撰寫入門』(「企画のつくり方入門」台湾版翻訳 商周出版/2009.1=単著)			
6. 所属学会	日本広告学会、日本創造学会、遊戯史学会、日本説得交渉学会		
7. 主な社会活動、資格、その他	日本学生ゼミナール「インナー大会」審査員、東京都生徒商業研究発表大会審査員		
	読売新聞 大学生マーケティングコンペティション審査員		
	遊戯史学会理事、日本説得交渉学会理事		